

シクリスムエコーNo.80 2001年9月号

新委員長の抱負(2).....	2
Shimano " Suzuka " Road .....	3
TOUR de CHINA 2001 .....	4
2001年UCIトラックワールドカップ第4戦 / 5戦 選手団 .....	6
2001年ジュニアトラック世界選手権大会 .....	7
平成13年度 全国高等学校総合体育大会 .....	8
TOUR DE L 'ABITIBI 2001 .....	10

第9回三笠宮ツール・ド・とうほく / 高校合宿.....	12
連載企画アンチ・ドーピングについて .....	13
第4回アジア室内自転車競技選手権大会.....	14
BMX全日本選手権 / BMX世界選手権アメリカ大会 ..	15
競技大会結果 / 日本新記録 .....	18
チャレンジ・ザ・オリンピック / シクロクロス予定表 ..	19
MTB世界選手権 選手団 / T.d.おきなわのお知らせ ..	20



## 新委員長の抱負(2)

### 「アンチドーピング」に理解と協力を

アンチドーピング委員会 委員長 鈴木 孝幸

およそあらゆる競技者は、出場するからには勝ちたい。または、何と少しでも勝ちたいと思う気持ちは、きわめて自然であり、素直な心情でありましょう。

この気持ちこそ、日頃の辛い練習に励み、体力の限界にも挑戦し、如何なるストレスにも打ち勝っていく原動力となるものでありますが、この競技者の取り組みが、健全な努力の成果でなければなりません。

しかしながら、近時の競技者を取り巻く禁止薬物に関する環境は、限られた特殊な人々が、秘密裏に使用してきた感のある従前とは一変し、今や、国内では、茶の間においてインターネットを通じ、さらに海外では、店頭にお

いて一般市民が、旅行者が容易に購入できる状況にあります。

昨今、清涼飲料をはじめ栄養補助食品の中に、禁止薬物が混入されていたという事例が散見されており、これら由々しき状況を鑑みる時、本委員会としては、その使命である真の勝者を認定する検査はもとより、競技者の身体保護の観点等からも、その未然防止に重点を置き積極的に取り組んでいく考えであります。

また、今後とも、事業執行にあたっては、信賞必罰の精神をもって、検査結果に応じた厳格なる対応を提言していく所存でもあります。

各都道府県連盟における指導的役割を担う皆様にあつては、かかる状況

をさらに強く認識して頂くとともに、アンチ・ドーピングの目的を理解され、「飲まない=強固な意志」、「買わない=誘惑の拒絶」、「近づけない=潔白な姿勢」を年頭に置き、競技者の身体保護、競技の公平確保、禁止薬物の社会的影響について充分なる指導啓蒙をして頂きたく、ここにお願ひ申し上げる次第です。本委員会においては、本連盟における各種大会が、「ナチュラル」にして「クリーン」な競技として評価されている実績を、今後とも堅持されるよう、諸事業の推進に努めて参る所存でありますので、一層のご理解とご支援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

## 本連盟の存立と将来への課題

総務委員会 委員長 鈴木 久雄

今期、期せずして総務委員長に指名され、事務局長を兼務する身として、その責務と責任の重大さをひしひしと感じています。

まずは諸般の事情で挨拶が遅くなりました。お許しください。

本連盟もアマ、プロオープン化後、早4期目を迎えた。

岩楯体制のもと経済不況デフレの現状下にあつて今までになく幾多の難題難問を抱え、その解決に莫大なエネルギーを必要とする。

今さら云うまでもなく本連盟は文部科学省管轄の寄附行為に基づく財団法人である、しかるに運営財源の大きな部分を経済産業省が査定する日本自転車振興会公益補助金に依存する団体なのだ。

小泉総理の「聖域なき構造改革」「改革無くして成長なし」その断行が本格的に実践されるならば、特殊法人傘下に存在する我が連盟も何らかの影響を受けるものと危惧せざるを得なからう。

日本の再建は痛みを分かち合う事だと言葉では簡単に云うけれど、さて直接自分達の身に降り掛かってきたら素直に受け入れられるものかどうか疑問が生ずる。

しかし現実には現実、現実を直視し今こそ自主財源の確保に真摯に取り組まなければならないそんな厳しい時代の到来を自覚すべきなのだ。

とにかく立ち止って居ては始まらない行動を起こすべきだ。総論賛成、各論疑問もあると思うが成就に向

てやるべきはやるべきなのだ。

今期の総務委員会は下記事項をメインテーマとして積極的に取り組む。

1. 加盟団体並びに種目別団体継続事業の抜本的見直しと統廃合
2. 委託事業等運営経費の精査
3. 自主財源確保の実態論より具現化
4. 役員機構、委員会規程等の再検討
5. 事務局体制の整備と国際的事業に係わる詮索。

以上現状を把握し、効果的な結論を求める我が総務委員の平均年齢は60才余、しかしながら精神的にも肉体的にも若者に引けを取らないパワーと経験を持っていることを自負している。会員皆様の協力が力となる。前もって皆様の協力を感謝申し上げます。

## Shimano “ Suzuka ” Road



先頭集団を引っ張る日本人1位の橋川



優勝のGiosue' Bonomi(イタリア・Colpack)

夏休みで賑わう8月18～19日の2日間、三重県の鈴鹿サーキットで第18回シマノ鈴鹿ロードが開催された。

数あるカテゴリーの中、19日土曜日の午後、JCF共催の「シマノ鈴鹿国際ロード」が外国招待選手を含む198名によって5.8640kmのサーキット10周で競われた。

### 〔競技結果〕

国際ロード(5.8640km)

- 1 Giosue' Bonomi(イタリア Colpack) 1:22:35.01
- 2 Martin van Steen(オランダ GiroLoterij) 1:22:35.83
- 3 橋川 健 埼玉 ブリヂストン 1:22:36.04
- 4 阿部 良之 大阪 シムルシグ 1:22:36.91
- 5 山本 雅道 神奈川 シムルシグ 1:22:57.00
- 6 鈴木 新史 愛知 愛三工業 1:22:57.21
- 7 Krzysztof Krzywy(ポーランド Mroz) 1:22:57.64
- 8 宮澤 崇史 東京 日本舗道 1:22:57.66
- 9 守屋 寿人 大阪 シムルシグ 1:22:57.99
- 10 藤野 智一 埼玉 ブリヂストン 1:22:57.99



## TOUR de CHINA 2001



昨年オリンピックのため参加出来なかった今大会は、中国内モンゴル自治区(フフホト)をスタートし4ステージ(620km)で行われた。

海外招待の日本・カザフスタン・香港・マカオ・モンゴル・台湾・オランダ・オーストラリア・ニュージーランドの9チームに加え、地元中国3チームが参加、総勢62名の選手がスタートした。

## 7月26日 晴れ 第1ステージ(180km)

第1ステージは高速道路を走るフラットなコース。前日の移動疲れもなんのその、スタートから積極的な走りを見せる日本チームは、岡崎が単独で飛び出すが、50kmで集団に吸収される。続いて田中、飯島(台湾チーム)2名が集団から抜け出し、タイム差を広げ逃げる。

74km地点で落車事故が発生した。岡崎が落車した選手に乗り上げ転倒し膝を強打して走れなくなりリタイヤ、岩本も落車したが、車輪を交換して復帰する。

逃げていた田中と飯島は集団に吸収されるが、94km地点で狩野、鈴木(新)を含む13名の選手がトップ集団となり逃げる。

ラスト50km、トップ集団から狩野を含む5名の選手が抜け出し、逃げ切り態勢に入る。

ラスト5kmからトップ集団はアタッ

クの掛け合いとなり、ゴール勝負に残った狩野が2名がけん制した際にアタック。優勝かと思われたが惜しくも3位でゴール。

## 7月27日 晴れ 第2ステージ(220km)

朝7時、ホテル出発。スタート地点まで150kmほどバスで移動し、途中浮き橋が有り危険なため、バスを降り歩いて渡りスタート30分前に到着する。何もない砂漠の場所からスタート、早くもモンゴルの選手が集団から抜け出し独走で逃げる。

スタートしてから50km地点、1.5kmの砂地道路となり、ハンドルをとられバランスを崩した選手が遅れる。

砂地から集団が抜けると同時に、カザフスタンが一齐にアタック、集団の先頭でローテーションを組み集団のペースを上げる。

左から吹く横風で思うようにラインが取れない集団は3つに分かれるが、トップ集団の13名の中には、日本チームの選手が入っていない。

必死にトップ集団を追うが、なかなかタイム差は詰らず、逆に引き離されてしまう。

トップ集団から大きく遅れてゴールした第2集団、トップ集団でゴールできなかった日本チームは、総合上位入賞が絶望的になった。

## 7月28日 晴れ 第3ステージ(180km)

山岳コースとなった第3ステージは、スタートからモンゴルの選手がアタック、集団から飛び出し独走で逃げる。

町を5周してから山岳コースに向かう。町を出てからChun Daehong(台湾)と北京の選手が集団から抜け出し、モンゴル選手に追いついて3名のトップグループで逃げる。

逃げていた3名は総合成績に関係ないためメイン集団も追わず、集団とのタイム差が6分と開く。90km過ぎ、逃げていたChun Daehongが単独の逃げ展開となり、北京とモンゴルの選手が遅れる。

モンゴル選手は集団に吸収され、130km地点で鈴木(新)が集団から飛び出し、逃げていた2選手を追う。150km地点で、北京選手に追いつき、トップを走るChun Daehongとのタイム差1分30秒。このまま行けるかと思っただが、ラスト20kmで集団のペースが上がり、鈴木、惜しくも集団に吸収される。

逃げていた、Chun Daehongは逃げ切って優勝、第2集団のゴール勝負で、鈴木(真)が4位に入る。

## 7月29日 晴れ 第4ステージ(80km) サークITLEASE

最終ステージ、日本勢は区間優勝を狙い、スタートから積極的なレース展開で集団からアタックを繰り返す。

鈴木(新)を含む3名の選手が集団から抜け出す。続いて狩野、鈴木(真)を含む10名の選手が集団から抜け出しトップ集団を追う。

ラスト5周回、7名となったトップ集団に日本選手が3名おり、ゴールスプリントに自信のある鈴木(真)を勝たせるため、狩野、鈴木(新)がトップ集団をコントロールする。

ラスト周回前、ゴールラインの風船幕が風で飛ばされゴールの目印が無くなり、ゴールスプリントが心配になる。

トップ集団はラスト周回に入り、いよいよゴール勝負。絶対に優勝と思った鈴木(真)が、心配していた通りゴールラインを間違え、もがかずして3位のままゴール、貴重な区間優勝を逃した。

(監督 高橋松吉)



第1ステージ3位の狩野

## [ 競技結果 ]

## 第1ステージ (180km)

1	LAVRENKO SERGEY KAZ	3:41:59.450
2	DAHLBERG NATHAN NED	3:41:59.450
3	狩野 智也 JPN	3:42:01.420
6	鈴木 真理 JPN	3:44:05.590
14	鈴木 新史 JPN	3:44:09.930
22	田中 光輝 JPN	3:44:12.630
46	岩本竜太郎 JPN	3:52:37.350
	岡崎 和也 JPN	DNF

## 第2ステージ (220km)

1	HAMMINK DENNIS NED	5:38:08.694
2	TANG XUEZHONG CHN	5:38:08.694
3	ULI ORSHIKH MGL	5:38:08.694
15	狩野 智也 JPN	5:51:16.242
17	鈴木 真理 JPN	5:53:30.438
19	鈴木 新史 JPN	5:53:30.922
22	田中 光輝 JPN	5:53:31.664
37	岩本竜太郎 JPN	6:15:36.680

## 第3ステージ (180km)

1	CHUN DAEHONG TPE	4:30:22.731
---	------------------	-------------

2	HAMMINK DENNIS NED	4:31:14.503
3	TANG XUEZHONG CHN	4:31:14.503
4	鈴木 真理 JPN	4:31:14.688
18	狩野 智也 JPN	4:31:28.769
20	田中 光輝 JPN	4:31:31.062
29	岩本竜太郎 JPN	4:32:03.983
36	鈴木 新史 JPN	4:32:06.625

## 第4ステージ (80km)

1	HAMMINK DENNIS NED	1:56:58.761
2	TUPCHENKO DENIS KAZ	1:56:58.761
3	鈴木 真理 JPN	1:56:58.761
8	鈴木 新史 JPN	1:57:08.494
9	狩野 智也 JPN	1:57:10.169
18	田中 光輝 JPN	1:57:40.633
52	岩本竜太郎 JPN	1:57:54.729

## 個人総合成績

1	LAVRENKO SERGEY KAZ	15:48:55.384
2	DAHLBERG NATHAN NED	15:48:59.352
3	HAMMINK DENNIS NED	15:50:01.548
13	狩野 智也 JPN	16:01:53.000
16	鈴木 真理 JPN	16:05:46.152
17	田中 光輝 JPN	16:06:55.448
21	鈴木 新史 JPN	16:07:15.984
33	岩本竜太郎 JPN	16:38:12.744

## 団体総合成績

1	KAZ	47:31:07.152
2	NED	47:35:52.304
3	TPE	48:00:12.236
5	日本	48:14:06.496

## ツール・ド・チャイナ遠征記

ツール・ド・チャイナ日本選手団(選手6名、スタッフ4名)は、北京空港に到着後、国内線の乗換えで激しい雷雨にあい15時間以上待たされたあげく、空港は閉鎖となり翌日の便を辛うじてとり、現地入りがスタート前日(25日)の夜となる、ぶっつけ本番のレースを強いられることとなった。

初日の第1ステージは高原のさわやかな風が吹き渡り、スタート地点には人垣が出来るほどの観衆が見守る中、午前8時に呼和浩特(フフホト)市の中心街を一斉にスタートし、一路包頭市までの180kmの闘いが始まった。

第2ステージは、早朝に150km離れた地点までバス移動という強行軍となった。途中黄河上流の橋(浮橋)を渡る時、全選手団がバスから降りて渡るといふ何とも中国らしさを経験することとなった。

220kmの道程は、スタート直後か

ら行けども行けども砂漠地帯を走り、その後大草原を抜けてゴールする難コースで争われた。

コースには家らしい家もないのに老若男女の観衆が声援を送り、何処に住んでいるのかとふと疑問に思えたが、これも世界一の人口を持つ中国では当たり前なのではと、妙に納得した次第である。

第3ステージは起伏の激しい草原地帯をひたすら走る180kmコースで争われた。沿道には、どこからともなく観衆が集まり、日本に比べて観衆の多さにはただただびっくりするばかりである。

もう一つびっくりしたことは、コースに当たる高速道路では1日中自動車止めて交通規制をし、料金徴収所の職員が直立不動で整列して集団が通過するまで敬礼をしていたことである。

第4ステージ(最終日)は、呼和浩特市内 1周5km×16周 80kmのク

リテリウムが、日曜日とも相まって大勢の観衆が見守る中行われた。日本チームの鈴木真理選手が3位に入る健闘を見せた。

中国に行った感想として、悪い面では全体的に埃っぽく緑が少ないのと、北京国際空港で悪天候の為足止めされたが、その時の職員の対応が悪く、2008年のオリンピック開催時までには改善されることを望みたい。

良い印象は沿道の人々の表情が皆人なつつく家族や町や人達が助け合って暮らしている様に読み取れたことである。

今回ツール・ド・チャイナで中国奥地内蒙古の人々の表情からして、文明が進歩することが良いのか悪いのか非常に考えさせられた今回の感想である。

(選手団 総務 保古 信之)

## 2001UCIトラックワールド・カップ第4戦メキシコ



クで59秒台をマークし、堂々の銀メダルを獲得した。

1kmタイムトライアルは、荒井が1分4秒台で8位、大森はオープン参加で1分3秒265をマーク、二人共自己の記録を更新した。

スプリントは高城信雄、濱田が出場し、予選200mTTで高城が10秒533で8位、濱田が10秒876で15位で予選を通過し、1/4ファイナルまで二人とも勝ち上がったが、濱田はここで敗れ8位に、高城は1/2ファイナルで敗れ3、4位決定戦へ回った、これまでオール先行できたので銅メダルを期待したが、疲労も有り4位に終わった。ケイリンは、高城が出場したが、スプリントの疲れが出て、予選4位で決勝には進めなかった。

今大会は、時差と高地での悪条件のなか自己の記録を全員更新し良く頑張ったと思います。(福田 公生)

## [ 競技結果 ]

## 男子1kmタイムトライアル

1	TOURNANT Arnaud	FRA	1:00.898
2	RENSHAW Mark	AUS	1:02.374
3	KREJNER Grzegorz	POL	1:02.590
8	荒井 崇博	JPN	1:04.213

## 男子スプリント

1	CHIAPPA Roberto	ITA
2	LABAUVE Jeffrey	USA
3	DUBLE Arnaud	FRA
4	高城 信雄	JPN
8	濱田 浩司	JPN

## 男子ケイリン

1	VILLANUEVA Jos Antonio	ESP	
2	KREJNER Grzegorz	POL	
3	MCLEAN Craig	GBR	
	高城 信雄	JPN	予選敗退

## 男子1000mタイムトライアル

1	FRA	59:310
2	日本(荒井・大森・濱田)	59:750
3	USA	1:00.870



トラック・ワールドカップ第4戦メキシコ大会は、8月10日から12日の3日間、メキシコシティで行なわれた。参加国は21カ国で、中南米の国々の参加も多かった。地元メキシコの活躍もあり、場内はメキシコ人の応援で盛り上がった。

日本チームは、まず高地との戦いから始まったがコンディションの調整も上手く行き、オリンピックスプリントでは、濱田浩司、大森慶一、荒井崇博が出場し、1回戦イタリアと対戦し快勝、決勝戦に進出した。決勝は、フランスと対戦、微差で敗れはしたが、333mバン

## 2001年ワールドカップ第4戦 代表選手団

大会名	2001年ワールドカップ第4戦
開催場所	メキシコ・メキシコシティ
開催期間	平成13年8月10日(金)~12日(日)
派遣期間	平成13年8月6日(月)~14日(火)
代表選手団	
監督	班目 秀雄(連盟強化コーチ)
コーチ	福田 公生(連盟強化コーチ)
メニジャン	藤原富美男(連盟強化スタッフ)
マッサージャー	柳 浩史(連盟強化スタッフ)
選手	高城 信雄(JPCA)・濱田 浩司(JPCA) 荒井 崇博(JPCA)・大森 慶一(北海道)

## 2001年ワールドカップ第5戦 代表選手団

大会名	2001年トラックワールドカップ第5戦
開催場所	マレーシア・イポー
開催期間	2001年8月24日(金)~26日(日)
派遣期間	2001年8月21日(火)~28日(火)
代表選手団	
監督	班目 秀雄(連盟強化コーチ)
コーチ	ゲーリー・ウエスト(連盟強化コーチ)
メニジャン	藤原富美男(連盟強化スタッフ)
マッサージャー	柳 浩史(連盟強化スタッフ)
通訳	増田恵美子
選手	金子 貴志(JPCA)・佐野 梅一(JPCA) 飯島 規之(JPCA)・飯島 誠(JPCA) 永井 清史(岐阜)

# 2001年ジュニアトラック世界選手権大会

## スプリント永井清史4位・ポイント高島 豪6位入賞



スプリント4位の永井(左)

2001年ジュニアトラック世界選手権大会は7月25日～29日までの5日間、アメリカ・トレックラータウンにて開催された。28ヶ国、男子172名、女子40名が参加。日本チームは台湾で行われたアジア選手権からの連戦となり、1人ひとりが努力精進し、その結果大変頑張り二人の入賞者を出した。

### 3km個人追抜競走

7月25日天候晴れ。微風の中42名が出走。第2組目ホームからスタートした池田丈志は対戦相手のRIVERA(プエルトリコ)をスタートして2000m付近で追抜き頑張ったが、3分49秒406という平凡なタイムであった。又6組目バックからスタートした臼井昌巨は、バンクが重いようで最後までスピードに乗れず、自己ベストに遠い13分47秒199であった。残念ながら共に予選通過できなかった。予選1位は3分27秒090(ウクライナ)で1周22秒台で最後まで力走していた。

### オリンピックスプリント

昨日の大雨で延期のなっていたオリンピックスプリント日本チーム(井上雄三、永井清史、臼井正巨)唯一の団体



オリンピックスプリントのスタート

種目であり、3人で気合を入れてスタートラインについた。第一走者井上雄三のスタンディングも良かったこともあり、第三走者臼井正巨とホルダーの呼吸が合わず、第二走者の永井清史から離れてしまい1分10秒670と言うタイム(予選17位)に終わってしまった。予選1位のフランスチームはスタートから息も合い1分04秒434であった。

### 1kmタイムトライアル

井上雄三が出場。「スタートが合わなかった」本人の弁のように、オリンピックスプリントのようなスタートが出来なかったのが最後までひびいた。1分09秒542で18位。

### 24kmポイントレース

高島 豪が出場。バンクの幅が狭く、26人の選手での競走であった。1回目のポイントで高島は積極的に逃げて5点を取る。3回目のポイント終了後フランス、イギリス、メキシコ、ウクライナ、高島の5人で逃げるが、4回目のポイント終了後すぐに捕まり、捕まると同時にロシアが1人逃げてラップする。6回目のポイント終了後高島はひとりで仕掛けようとするが、集団が外に膨らみスピードダウンしてすぐ捕まる。9回目のポイント終了後オーストラリア、カナダ、スペイン、オランダ4人で逃げて、すんなりラップ。これでラップが5人になる。11回目のポイントは2周前から高島1人で逃げ5点(1位)を取り最後のポイントをとと思った瞬間、前で7～8

人落車し、走路がふさがれ高島も落車、あと2周を残し試合続行不可能と判断されピストルが鳴り競技終了。自分の力を信じ、積極的に仕掛けた結果6位(10点-1ラップ)となった、今後の日本チームに良い刺激になると思う。大変感動した。

### スプリント

今大会一番の期待を受け永井清史(アジアジュニアチャンピオン、世界タイ記録保持者)と井上雄三の2名がエントリー。

永井清史は予選200mハロンではベストタイムとまではいかなかったが、10秒876で50人中、オーストラリア、ドイツ、フランスに次ぐ4位であった。

井上雄三は11秒805(42位)であった。永井は1/16、1/8、1/4ファイナルと危なげなく勝ち進んだ。1/8ファイナルでは今大会1kmタイムトライアルのチャンピオンと当たりダッシュで10m以上離なされたが、一気に差し引き観客を沸かせた。1/2ファイナルでは今大会優勝者(ハロン1位10秒809)のオーストラリアFRENCH Markと当たり、1本目は一瞬の隙を見て先行し先着したが2本目3本目と負けてしまった。3～4位決定戦では一瞬の切れ味を持っているフランスのMANDARO Mathieaに2本とも取られ完敗であった。1日10本とハードな競技日程であったが選手が良く頑張ってくれた。(監督 田崎今日児)

### [競技結果]

#### 男子スプリント

1	FRENCH Mark	AUS
2	GERHARDT Robert	GER
3	MANDARD Mathieu	FRA
4	永井 清史	JPN

#### 男子1kmタイムトライアル

1	BOS Theo	NED	1:05.539
2	MANDARD Mathieu	FRA	1:05.563
3	STAHL Christian	USA	1:06.061
18	井上 雄三	JPN	1:09.542

#### 3km個人追抜競走

1	MESCHENMOSER Christoph	GER	3:26.897
2	DYUDIYA Volodymyr	UKR	3:28.830
3	KRAUSS Sven	GER	3:30.555
18	臼井 昌巨	JPN	3:47.199

#### 男子ポイント(24km)

1	ESKOV Nikita	RUS	13p
2	PRONK Jos	NED	11p
3	KEMPS Aaron	AUS	10p
6	高島 豪	JPN	(-1)10p

#### 男子ポイントスプリント

1	AUS	1:03.602
2	FRA	1:03.722
3	GER	1:04.987
17	日本(井上・永井・臼井)	1:10.670

# 平成13年度 全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯第52回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会・第46回全国高等学校自転車道路競走大会



ロードレース

21世紀の幕開けを飾る『ひのくに新世紀総体』は、8月4日～8日の5日間に渡り、まさしく燃えるような炎天下の熊本県で熱戦が繰り広げられた。ロード競技は、海の眺望が感動的な天草で開かれた。天草はトライアスロン日本発祥の地で、今年も国際大会が実施されるなど、自転車ロードになじみの深い土地柄である。またトラック競技は、豊かな緑と清流に恵まれた「森の都」熊本市の熊本競輪場(500mトラック)で開催された。

## ロード・レース

前年度までのチーム・タイム・トライアル・ロード・レースに換わり、新たに次の2種目が実施された。

### [ワンデイ・ロードレース]

コースは2年前の国体と同じ天草下島特設コース(44.6km×2周=89.2km)で、熱帯夜を過ごした163名が6時30分本渡市をスタートした。コースは、24km地点の苓北町役場まで平坦な海岸線を走り、そこから34km地点の茶屋峠まで標高差424mを一気に登り詰め、S.F.地点まで下る変化に富んだコースである。レースは1周目から動いた。今年の全国高校選抜と全日本ジュニアを制した別府史之(藤沢北)と櫻井透(横浜)が積極的な逃げを打ったが、茶屋峠への登り手前で吸収される。1周目通過地点ではトップ集団は約30名に絞られる。2周目の茶屋峠への登りで土井雪広(山形電波工)ら9名が抜け出し、ゴール手前2km位から駆け引きが始まる。松下善紀(広島国際)が仕掛けて、ゴール手前500m地点では10数m引き離しそのままゴール。2位に辻善光(北桑田)、3位

に佐藤佑一(紫波)が入った。

### [インディヴィデュアル・タイムトライアル]

ワンデイのスタート10分後に47名の選手が30秒間隔でスタートした。コースは、ワンデイの前半部分、本渡市から苓北町役場までの平坦地23.8km。美しい天草の海に臨んだコース。初の栄冠に輝いたのは平気時速43.84kmで走り抜いた親川泰典(盛岡農)であった。

## トラック・レース

### [1kmタイム・トライアル]

気温33.7・風速4m。タイムの出にくいバンク。前年度この種目三冠の永井清史(岐阜第一)のスプリント転向。いよいよ本命なき「自己との戦い」が始まった。6組目、注目の一人屋良朝春(北中城)が暑さを吹き飛ばすような1分8秒392の好タイムをマーク。その後有力選手が思うようにタイムを伸ばせず最終組まで来る。橋本強(松山聖陵)も1分9秒303に留まり、栄冠は屋良に輝いた。

### [3km個人追抜競走]



個人追抜1位の白井

決勝は、吉田公樹(青森山田)と選抜大会の覇者白井昌巨(岐南工)による白熱した戦いになった。吉田は挑戦者として初めからペースを上げていったが、白井のパワーとスピードに負け、序盤の1kmで0秒75の差を付けられる。中盤も白井がリードし、その差は2秒21に広がる。最後の1kmも白井は1分12秒46で走りきり、3分40秒136のタイムで選抜に続いて優勝を飾った。

### [スプリント]

昨年の1kmの三冠永井清史(岐阜第

一)は、今年からスプリントに転向し、JOCオリンピック・カップを制し、アジアジュニア選手権で200mタイムトライアル10秒236でジュニア世界タイ記録を出し、今大会での走りがマスコミにも注目された。永井は予選で10秒915を出し、余力を残しながら順当に決勝に勝ち進み、決勝では鷹木官玄(紫波)と対戦した。1回戦は、永井が鷹木のインで併走すると鷹木がバックで仕掛ける。永井はそれに合わせ3コーナーの中バンクでダッシュし、そのまま逃げ切った。2回戦は、先行する鷹木をバックで永井がアウトから一気に抜き取り、10秒881で圧勝した。

### [ポイント・レース]

ポイントレース



2回目のポイント後、身崎琢磨(東北)・相川永伍(川越工)・加藤久誠(愛工大名電)の3人が逃げ、中盤でラップが成立した。その間隙をついて片山智晴(岡山工)が逃げを打ち、半周のリードを保ちながら着実にポイントを重ねる。終盤に親川泰典(盛岡農)が単独で片山に追いつく。さらに二人はペースを上げメイン集団に追いつき周回遅れが消える。その時点で片山は一躍トップに立ち鮮やかな逆転勝利であった。片山のねばり強さに勝利の女神が微笑んだ。

### [ケイリン]

選抜大会では定着したこの種目が、オリンピックに1年遅れはしたものの、今年の熊本インターハイから正式種目として認められた。選抜2位の吉本卓仁(久工大附属)が5番手から一気にダッシュすると、先行していた選抜の覇者中田博之(氷見)が合わせる。2センターで吉本はうまく中田の番手に入り、菊池隼人(作新学院)がその後続く。4コーナーを回り逃げる中田を吉本



ケイリン

が猛烈に追い込む。写真判定にもつれ込んだ結果わずかに吉本の方が早く、選抜の雪辱を果たした。

#### [ エリミネーション・レース ]

観客の注目の的は、昨年のインターハイ・国体・選抜の覇者白水洵(久工大附属)の動きに絞られた。常に好位置をキープし、レースの流れを冷静に判断し、余裕ある展開を見せた。最終バックで白水がダッシュすると、島田迅人(鴨沂)は諦め、約100mほどの差を付けて楽々と逃げ切った。白水は7人目のインターハイ2連覇の記録を残した。

#### [ 4km速度競走 ]

前半はハイペースで先頭責任が争われたが、中盤ペースがゆるんだ隙に糸賀賢司(平工)が先頭責任を完了。貯めた力でゴール勝負を制した。



団体追抜1位の岐南工

#### [ 競技結果 ]

##### ウディ・ロードレース(89.2km)

1	松下 善紀	広島 広島国際	2:21:59.43
2	辻 善光	京都 北桑田	2:22:00.84
3	佐藤 佑一	岩手 紫波	2:22:01.10
4	隅田 幸助	広島 広島国際	2:22:01.16
5	天沼 雅貴	北海道 尚志学園	2:22:01.29
6	矢代 慎吾	富山 氷見	2:22:01.60
7	桧原 稔明	奈良 北大和	2:22:02.68
8	土井 雪広	山形 山形電波	2:22:04.34
9	立里 匡道	山形 山形電波	2:22:05.84
10	三滝 光誠	山形 村山農	2:22:45.70

##### インディヴィジュアルタイムトライアル(23.8km)

1	親川 泰典	岩手 盛岡農	32:34.43
2	池田 丈志	奈良 北大和	33:06.07
3	小岩 大介	大分 日出陽谷	33:14.65
4	高島 豪	埼玉 小松原	33:18.16
5	辻 龍一	大阪 城東工	33:39.97
6	鷲田 佳史	福井 北陸	33:42.47
7	小倉 知幸	福島 東白川農商	33:54.88
8	柏原 剛	京都 北稜	34:07.14
9	中山 健	新潟 燕工	34:10.79
10	阿部 功	高知 高知工	34:17.74

##### 1kmタイムトライアル

1	屋良 朝春	沖縄 北中城	1:08:39.2
2	橋本 強	愛媛 松山聖陵	1:09:30.3
3	須藤 雄太	千葉 京葉工	1:09:36.3
4	平間 一洋	宮城 仙台商	1:09:43.5

#### [ 4km団体追抜競走 ]

昨年の覇者岐南工対岐阜第一という岐阜県同士の決勝戦。手の内を知り尽くした同士の駆け引きにも興味が持たれた。最初の1kmで岐阜第一が0秒88リード。2kmではその差は2秒06に広がる。その後岐南工がペースを上げ3kmではその差はわずか0秒04に詰まる。最

後の1kmを岐南工は1分5秒232で走りきり、見事な逆転勝利を果たした。岐南工は3年連続9回目の優勝。

#### [ オリンピック・スプリント ]

決勝は、仙台商と京葉工の対戦となった。1走は35秒32で京葉工0秒34リード。しかし2走で逆転、仙台商が0秒69の差を付ける。3走でもその差を0秒852に広げ、初優勝を飾った。

#### [ エピローグ ]

天草、熊本市の高校生たちは、「このとき君が輝き風になる」のスローガンを胸に、「一人一役」の準備に取り組んでくれた。この場を借りて感謝します。

(山口 秀雄)

5	福田 正人	埼玉 鳩山	1:09.633
6	西村 行貴	熊本 開新	1:10.328

##### スプリント

1	永井 清史	岐阜 岐阜一
2	鷹木 官玄	岩手 紫波
3	北津留 翼	福岡 豊国学園
4	青木 亮太	群馬 前橋工
5	渡部 幸訓	福島 白河実
6	斎藤 友幸	静岡 修善寺工

##### 3km個人追抜競走

1	臼井 昌巨	岐阜 岐南工	3:40.136
2	吉田 公樹	青森 青森山田	3:46.012
3	明珍 周兵	福島 白河実	3:45.420
4	高島 豪	埼玉 小松原	3:49.977
5	熊谷 薫	福島 岩瀬農	3:46.345
6	辻 龍一	大阪 城東工	3:47.037

##### 4km速度競走

1	糸賀 賢司	福島 平工	5:03.360
2	田中 誠久	福島 留米工大付	
3	三澤 康人	宮城 東北	
4	緒方 剛	埼玉 川越工	
5	柴田 大全	埼玉 杉戸農	
6	村形 幸侑	山形 山形電波工	

##### ケイリン

1	吉本 卓仁	福岡 久留米工大付
2	中田 博之	富山 氷見
3	菊地 隼人	栃木 作新学院
4	関 智晴	新潟 吉田商
5	松田 直也	大分 日出陽谷
6	小池 輝雅	岐阜 岐南工

##### エリミネーション

1	白水 洵	福岡 久留米工大付
2	島田 迅人	京都 鴨沂
3	青木 広之	宮城 古川商
4	桑野 翔	香川 石田
5	村田 敦	茨城 取手一
6	小山 英幸	宮城 小牛田農林

##### ポイントレース

1	片山 智晴	岡山 岡山工	30 p
2	親川 泰典	岩手 盛岡農	13 p
3	身崎 琢磨	宮城 東北	12 p
4	相川 永伍	埼玉 川越工	10 p
5	加藤 久詞	愛知 愛工大名電	10 p
6	谷垣 雄基	京都 北桑田	(-1)13 p

##### ポイントスプリント

1	仙台商	平間・荻原・清水	1:41.887
2	京葉工	須藤・植草・花澤	1:42.739
3	内灘	田中・渡辺・室谷	1:43.567
4	和歌山北	椎木尾・松村・前田	1:44.887
5	豊国学園	是永・北園・北津留	1:43.766
6	龍谷	小林・宮地・古川	1:43.956

##### 4km団体追抜競走

1	岐南工	柴田・野口・臼井・青木	4:34.342
2	岐阜一	小椋・葛谷・原田・吉田	4:38.544
3	八戸工	大野・尾形・五日市・坂本	4:39.931
4	六郷	高橋・本間・武田・植村	OVT
5	大曲農	高田・杉山・仲村・田中	4:44.122
6	東白川農	鈴木・小倉・西牧・小林	4:44.193

##### 総合成績

1	久留米工大付	福岡	25 p
2	岐南工	岐阜	24 p
3	岐阜一	岐阜	19 p

## TOUR DE L' ABITIBI 2001



関西空港7月15日に集合後、飛行機が2時間遅れで関西空港を出発。当然のごとくデトロイト到着も2時間遅れとなり、バンクーバーへの乗り継ぎもわずか15分しかなく、駆け込むように機内へと乗り込んだ。バンクーバー到着後、荷物の受け取りに到着ロビーで待つも、いくら待っても荷物が出てこない。昨年の二の舞という感が頭の中を過ぎたが、やはり結果は昨年と同じであった。荷物と自転車については、翌日現地まで空輸してもらうことにして、Val-d'-orに車で600km移動。6時間かけて7月16日午前6時に宿舎である高校に到着。仮眠後に荷物と自転車の受け取りを再度空港に打診。結果は16日のプロローグのスタート1時間前であった。今回のステージには、Val-d'-or市を中心に23チーム15カ国より参加して行なわれた。全てのレースがVal-d'-or市をスクールバスでスタート地点に移動し、その後Val-d'-or市に向かってスタート、帰ってきたのち周回コースを数回まわってゴールという形態であった。

7月16日(月)

**プロローグ(Val-d'-or市内)**

2.2km x 7周回 = 15.4km

レーススタートが午後7時と遅いものの、非常に明るい晴天の中、選手はここ3日間程自転車に乗っていないためか、おおいに意気があがっていた。レースはほぼ全員が集団のまま、1周3分05秒台前後のペースで周回を重ね、足立

が2周目でラップされDNFになったものの、他の5名は集団ゴールでプロローグを終えた。

7月17日(火)

**第1ステージ(Lacorne-Val-d'-or)**

**チームタイムトライアル 40.4km**

少し肌寒い中、午前6時30分にスタート地点にスクールバスにて移動。40分で到着し、ちょっとした田舎の教会前がスタートであった。午前10時20分に21番目で6名がスタート。前半おさえ気味に43kmのペースで走行。10km地点で足立が切れ、残り30kmを5名で45kmイーブンで走行、小林・小岩がペースメーカーになりながらゴールし、総合では19位であった。

**第2ステージ(Val-d'-or市内)**

**クリテリウム 2.2km x 25周 = 55.0km**

少々夕暮れかかった感がするが非常に明るい午後7時にスタート。前半は1周3分02秒前後のペースで推移し、その中で足立が5周目にラップされDNFになる。中盤以降は3分20秒前後と周回のペースが落ちる中、時折桜井・小岩・谷垣が集団の先頭に頭を出す。残り10周頃より再びペースが上り、3分00秒を切るペースのままほぼ集団のままゴールした。小岩23位がこの日の日本チームの最高位で、他の選手も集団でゴールであった。

7月18日(水)

**第3ステージ(R-Navand-Val-d'-or)**

**個人ロード 109.3km + 2.2km x 3周 = 118.9km**

快晴の中、午後5時にスタート。35km地点で落車があったものの日本チームには影響はなかった。中盤50km地点で桜井他3名の選手が集団を引き離すが、後続の小岩を含む4名の選手に簡単に抜かれる。4名はそのまま集団を40秒程リードするが、80km地点で後続の集団に吸収され、そのままクリテリウムコースに入る。周回2周目に桜井他5名が集団より抜け出すも、すぐに集団にのみ込まれてゴールを切った。小林38位、小岩66位、総合19位であった。

7月19日(木)

**第4ステージ(Senneterre-Val-d'-or)**

**個人ロード 70.3km + 2.2km x 6周 = 83.5km**

夏空に少々雲が漂う中、午後4時30分にスタート、単発的な逃げはあるもののすぐに集団に吸収されるという展開の繰り返しの中、60km地点で安里がパンクし、すぐに復帰したもののその直後より急に集団のペースが60km近くまで上がり、そのまま集団に復帰することなく離され、周回コースの入り口で落とされた。レースは集団のまま周回コースに突入10名程の選手が集団を30秒ほどリード、後続の集団では谷垣が先頭で15秒程まで縮め、残り2周回で集団となりそのままゴールした。桜井18位、総合では19位と変化はなかった。

7月20日(金)

**第5ステージ(Val-d'-or市内の鉱山坑道)**

**個人タイムトライアル 13.9km**

早朝より汗ばむ程に暑い中、午前8時より3班に分けてスタートを切った。スタート地点が地下100mの坑道で、そこより傾斜角13%を一気に駆け上がってくるが、路面が泥でスリップしてなかなか思うように上がってこれないようであった。その後、Val-d'-or市内をまわって鉱山の入り口でゴール。小岩32位、小林58位と続いた。総合では16位であった。

**第6ステージ(Pveissac-Val-d'-or)**

**個人ロード 86.9km + 2.2km x 8周 = 104.5km**

午前中の個人タイムトライアルに続いて、少々暑さも和らいだ午後6時にスタートを切った。前半は目立った展開もなく、時折逃げもあるがすぐに集団に吸収される展開の繰り返しであった。75km地点で30名程の落車があり、桜井が巻き込まれたもののすぐに集団



に復帰する。周回コースに入ってから、集団の先頭に1周回ごとに安里・桜井・小岩が先頭に顔を出すもののゴールスプリントではスピードに乗り切れず、後続でのゴールとなる。谷垣33位、桜井44位、総合では16位という順位であった。

7月21日(土)

#### 第7ステージ(Amos-Val-d'or)

個人ロード 103km + 2.2km x 6周 = 116.4km

曇り空に傾きかけた午後4時45分にスタート。スタート直後より今日は何かありそうな雰囲気であった。35km地点で集団中央で40名程の落車があり、前日に続いてまたも桜井が落車、リアメカの修理に時間がかかり集団から大きく離されてしまう。その後60km地点で谷垣・小林が中切れによって集団から離された。小岩・安里は集団をキ

プして周回コースに入る。小岩16位、安里32位、総合は3人目のゴールがなく順位を20位と下げてしまった。

7月22日(日)

#### 第8ステージ(Val-d'or市内)

クリテリウム 2.2km x 32周 = 70.4km

突然スコールのように降る雨の中、午後1時45分にスタート。スタート直後より5名程の選手が飛び出すも5周程で集団に吸収された。その直後7名の選手が飛び出しそのまま後続の集団に1分程の差をつけてゴールした。日本チームは途中、小岩・谷垣がパンクするも5名が後続の集団で最終ステージのゴールを切った。全てのステージを走り切った顔はどの顔も泥で真っ黒であった。小岩16位、小林43位、総合20位であった。

今回のステージレースを振り返って

見るに、選手全員がよく頑張ってくれた。昨年度は総合成績がない状態であり、今回は下位ながらも20位という結果を残せたが、結果として満足いくものではなかった。日本チーム全体に言えることとして、スピードのなさが痛感された。周回までは集団で走れるが、ゴール前のスプリントに付いて行けないのが現実であった。持久力は世界に通じるものはあっても、今一歩及ばなかった。今後は、ゴール勝負で世界に通じる選手の育成・強化が望まれる。

ステージを通じて、小岩の活躍が一際引き立って見えたと成長も見られた。

最後に、今回の大会参加に際して連盟及び各メーカーより、多大な援助を戴き厚く感謝申し上げます。今後ともジュニアの育成・強化にご支援下さいますようお願い申し上げます。

(高体連 佐藤敏行)

#### [ 競技結果 ]

個人総合成績

1 VASTARANTA, Junka	FIN	14:10:04
2 SCHEUNEMAN, Niels	NED	14:11:00
3 POELS, Norbert	NED	14:11:43
53 小岩 大介	JPN	14:17:36
81 安里 勝徳	JPN	14:24:11
89 小林 彰夫	JPN	14:31:29
94 谷垣 雄基	JPN	14:34:44
106 桜井 透	JPN	14:57:09
足立 照剛	JPN	DNF

団体総合成績

1 Hollande	40:58:10
2 Danemark/Finlande	40:58:14
3 U.S.A. Saturn Team	41:00:50
20 日本	41:21:08

SHIMANO®

ペダリングセクション重視



SPD  
SHIMANO PEDALING DYNAMICS

株式会社シマノ 〒590-8577 堺市老松町3丁目7番地 「お客様相談窓口」電話 0722-43-2829  
当社の自転車部門の製品カタログご希望の方は、『カタログ希望』と明記し、300円切手同封の上、  
〒590-0944 堺市柳屋町東1-1-1「シマノクラブPRセンター」宛にご郵送下さい。  
シマノ自転車製品は、インターネットホームページ <http://cycle.shimano.co.jp> でもご覧になれます。

乗車したまま走りきるコースレアウトがマウンテンバイクレースの世界的な流れになっています。そこで、シマノはよりペダリングを重視したSPDシューズをリリースしました。

高強度カーボンソール搭載  
軽量シューズ

SH-M220

¥17,800

標準小売価格(税別)



泥づまりしにくい  
シリーズ最軽量ペダル

PD-M858

¥12,600

標準小売価格(税別)



## 第9回 三笠宮杯 ツールド・とうほく

今年で9回を数える「三笠宮杯 ツールド・とうほく」は、8月15日から19日までの5日間、岩手・山形・福島・宮城の4県を男子エリート、女子エリート、男子ジュニアの3部門、計24チームが熱戦を繰り広げた。

男子エリート個人総合は行成秀人(ミヤタ・スバル・レーシング)、女子エリートは木村春恵(スミタ・ラバネロ・パールイズミ)、男子ジュニアは親川泰典(岩手県代表)がそれぞれ優勝した。



photo: 河北新報社



### [ 競技結果 ]

#### 個人総合男子エリート

1	行成 秀人	ミヤタ・スバル・レーシング	8:23:51
2	坂口 博	愛三工業レーシング	8:25:46
3	飯島 誠	スミタ・ラバネロ・P.	8:26:36
4	西村 拓也	カガワFET	8:26:39
5	森 正和	ミヤタ・スバル・レーシング	8:28:21
6	栗村 修	ミヤタ・スバル・レーシング	8:28:35
7	江下健太郎	愛三工業レーシング	8:29:04
8	秋田 謙	愛三工業レーシング	8:30:37
9	小林 太樹	カガワFET	8:31:08
10	ライノ・ブラッド・リチーム・チェンロ		8:33:01

#### 個人総合女子エリート

1	木村 春恵	スミタ・ラバネロ・P.	6:20:14
2	杉村 久美	スミタ・ラバネロ・P.	6:22:17
3	森本 朱美	スミタ・ラバネロ・P.	6:22:26
4	大塚 恵美	千葉医療福祉・臼	6:27:54
5	増子 郁代	ALPHAWK	6:28:39
6	村中恵美子	千葉医療福祉・臼	6:29:40
7	伊与田尚加	チームVOLCA-CCM	6:33:39
8	小谷 翠	チームVOLCA-CCM	6:47:53
9	小野山恵美	千葉医療福祉・臼	7:19:49

#### 個人総合男子ジュニア

1	親川 泰典	岩手県代表	7:46:25
2	小林 彰夫	福島県代表	7:47:30
3	天沼 雅貴	北海道ブロック代表	7:48:42
4	白浜 慶一	中国ブロック代表	7:49:10
5	佐々木正美	青森県代表	7:50:27
6	隅田 幸助	中国ブロック代表	7:51:26

7	松下 善紀	中国ブロック代表	7:53:45
8	西牧 仁	福島県代表	7:54:13
9	鈴木 栄吉	九州ブロック代表	7:54:59
10	佐々木斎人	宮城県代表	7:57:11

#### 団体総合男子エリート

1	ミヤタ・スバル・レーシング	25:21:26
2	愛三工業レーシング	25:24:59
3	カガワFET	25:39:57

#### 団体総合女子エリート

1	スミタ・ラバネロ・パールイズミ	12:40:58
2	千葉医療福祉専門学校・臼	12:56:33
3	チームVOLCA-CCM	13:21:32

#### 団体総合男子ジュニア

1	中国ブロック代表	15:38:13
2	福島県代表	15:40:21
3	宮城県代表	15:52:27

## 平成13年度 第27回高校自転車競技全国合宿

平成10年度から、ツールド・とうほくの舞台をお借りして開かれている、高体連全国ロード合宿が、今年も全国6ブロックから計42名の選手の参加を得て、8月16～19日に山形・福島・宮城の3ステージで行われた。自転車競技の将来を担う高校1～2年生が、憧れのステージレースを自ら走るとともに、トップ選手達の走りを目の当たりに出来る貴重な機会である。

合宿初日の山形ステージは、最上町前森高原9.1kmの周回コースを6周する計54.6km。長い上りを安定したリズムで踏む辻善光(京都・北桑田高)がまず抜け出し、一時は集団に20秒差をつけるが、4周回で集団に吸収される。ゴールスプリントの結

果、向川訓司(大阪・河内長野高)が、わずかに辻を抑えてゴールを走り抜けた。

2日目の福島ステージは、1km×30周のクリテリウム。昨日のレースをリードした向川・辻に加えて西村光太(三重・三重高)、金山慎一郎(千葉・千葉経済高)の4名が残り12周で集団をラップ。西村・辻・金山の3人は、さらに集団から抜け出したが、中でも最も積極的に前の位置をキープした西村が、1年生ながら堂々の1位に輝いた。

最終日は、仙台泉ビレジ周辺の1周15kmを3周(45km)するコース。途中3kmの直線区間ではスピードが上がり、集団は長い棒状となって走り抜けるが、その後は標高差100mを一気に駆け上がる登坂が

待っている。1～2周目では多少の動きがあったが、誰もが上り坂を勝負所と考えたか、3周目では落ち着いた展開となる。果たして、最後の上りで激しい千切り合いが演じられ、それを耐え抜いた十数名が一気にゴールへなだれ込んだが、昨日に続き西村が僅差で最終ステージを制した。

3日間とも終始レースをリードした向川・辻に加えて、金山・西村ら1年生が力を発揮したのも、将来に向けて楽しみな要素だ。「ジュニアオープンの部」として、ツールド・とうほくに参加した合宿組だが、「ジュニアの部」に迫る元気な走りを連日見せ、この合宿を意義あるものにしてくれた。(矢野淳彦)

## 連載企画 第23回

# アンチ・ド・ピングについて

## 薬の知識(14)

### - 使用可能な医薬品(呼吸器系作用薬) -

#### 呼吸器系に作用する薬剤

7. 気管支拡張薬	アトロベンチ(帝人) テオコリン(エ・ザイ) テオロング(エ・ザイ) ネオフィリン(エ・ザイ) ベネトリン(三共)*	臭化イプラトロピウム コリンテオフィリン テオフィリン徐放製剤 アミノフィリン 硫酸サルブタモ - ル
8. 気管支喘息治療薬	アルデシン(シュering・プラウ)** ベコタイド(グラクソ)**	プロピオン酸ベクロメタゾン プロピオン酸ベクロメタゾン
9. 鎮痛薬・解熱薬・総合感冒薬	ピリナジン(山之内) ミグリステン(塩野義)	アセトアミノフェン メシル酸ジメトチアジン
10. 鎮咳薬	アストミン(山之内) フスタゾ - ル(ウェルファイド) フストジル散(京都薬品) メジコン(塩野義) リン酸ジヒドロゴデイン(各社)	リン酸ジメモルファン クロベラスチン グアイフェネシン 臭化水素酸デキストロメトルファン リン酸ジヒドロゴデイン
11. 去痰薬	ピソルボン(日本ベ - リンガ - )	塩酸プロムヘキシン
12. 口腔用剤	イソジン・ガ - グル(明治製菓) S P トロ - 子(明治製菓) パシトラシントロ - 子(科研)	ポビドンヨ - ド 塩化デカリニウム パシトラシン
13. 耳鼻咽喉科用剤	インタ - ル(藤沢) ナ - ベル(中外) ナシピン(中外) ブリピナ点鼻液(日本チバガイキ - ) ベコナ - 子(グラクソ)**	クロモグリク酸ナトリウム 硝酸テトラヒドロゾリン 塩酸オキシメタゾリン 硝酸ナファゾリン プロピオン酸ベクロメタゾン

\*: 2 刺激剤。吸入薬のみ使用が許可されます。[プリカニ - ル(硫酸テルブタリン)の使用は禁止されましたので注意して下さい。] \*\* : ステロイド剤。

#### < 2 刺激剤、ステロイド剤の使用上の注意 >

2 刺激剤、ステロイド剤を使用する場合には、医師の診断書を提出する必要があります。気管支喘息、アレルギー・性鼻炎、花粉症などの疾患でこれらの薬を使用している場合には、競技に参加する前に診断書を用意しておいて下さい。なお、診断書には、1 診断名、2 使用する薬の名前(剤形・薬の形態)、3 使用する薬の量と回数(頻度)を必ず明記してもらって下さい。

#### TITANIUM Technology

### より高度な剛性バランスを追求して、 Tiコブラシェイプ、さらに進化。

比重は鉄の約1/2、強度もアルミ・鉄を圧倒し、弾性にも優れるチタン。この理想の素材特性をフルに活かして開発したのが、Tiコブラシェイプだ。ヘッド側を縦楕円に、BB側を横楕円に形成。さらにティアドロップ断面とトリプルバテッド加工を採用することで、軽さ・衝撃吸収性・高剛性を徹底追求した。そして今シーズンは、ヘッド回りの剛性を高める“ゼロスタック”ヘッドシステムを採用。縦横の剛性をいっそう高次元でバランスさせ、よりニアな操縦性を実現した。



<http://www.panabyc.co.jp>

パナソニック・オーダーシステムカタログをご希望の方は、200円切手を同封の上、下記まで  
松下電器産業株式会社 自転車事業部 〒582-8501 大阪府柏原市片山町13-13 TEL.0729-77-1601

## Panasonic

### TiCOBRASHAPE

TITANIUM SUPER CROSS OVAL  
TRIPLE BUTTED DOWN TUBE



OCT 06 7.9kg 写真の商品はOCT 06 D (DURA-ACE)です。

WEIGHT OCT 06D 5.30SIZE チューブラー、ノーマルネール仕様

355,000円〜(税別)

※パーツ・カラー選択により価格は異なります。

フレーム単体販売

FCT 06

基本標準価格(税別) 170,000円〜

WEIGHT 1.9kg (フレーム・フォーク・ヘッドパーツ込み530サイズ)

ORDER  
SYSTEM

P.O.S-V

納品まで20日

## 第4回 アジア室内自転車競技選手権大会



第4回アジア室内自転車競技選手権大会が8月19日、中国マカオ、タイパ島のマカオスタジアム室内体育館において、日本、中国、中国香港、中国マカオ、マレーシアの5カ国が参加(フィリピンは不参加)して開催された。

### サイクルサッカー

日本チームは、7月の派遣決定戦を制した第一経済大学チーム(濱和彦、富士見明)が出場し、日本、中国香港、マレーシアの3カ国が2度づつ対戦するリーグ戦方式で試合が行なわれた。

日本チームの初戦は、昨年の世界選手権やアジア選手権にも出場している準地元の中国香港チームとなった。中国香港チームは、今大会に備えて1ヶ月間の欧州トレーニングをこなして急激に実力を伸ばしており、国際大会が初めての日本チームは、地元の大応援にも後押しされた中国香港チームに終始押される展開となった。しかし、シュートの正確さとペナルティキックを確実に決めた日本チームが少ないチャンスを実にものに5 - 3で辛勝した。

次ぎに対戦したマレーシアは、過去3大会の準優勝国で、昨年の世界選手権やアジア選手権にも出場したベテランペアである。初優勝を目指すマレーシアは、本番に強いタイプで、試合直後から強い当たりと、上手なパス回しで、試合の雰囲気にも飲まれ、緊張の解けない日本チームを圧倒した。日本チームは、一時2点リードされる場面もあったが、強引なプレーの目立つ彼等に対し、徐々に落ち着きを取り戻した日本チームが終盤に逆転し、これも5 - 3で辛勝

した。

中国香港とマレーシアの対戦は両チームの実力が拮抗しており、激しい試合となったが、経験に優るマレーシアが3 - 2で勝った。

リーグ戦の1巡回を2勝した日本チームは、マレーシア戦終盤の逆転勝利に自信と冷静さを取り戻し、2度目の中国香港戦を7 - 2、マレーシア戦を6 - 2で危なげなく勝利して、今大会の優勝を決めるとともに、日本チームの大会4連覇を達成した。

2度目の中国香港とマレーシアの対戦は、双方が激しく当り、激しく転倒して、再三主審が試合を止め、医療スタッフが駆けつける肉弾戦となったが、観客と中国、中国香港、中国マカオ選手の大応援に奮起した中国香港チームが3 - 1でマレーシアに勝ち、中国香港とマレーシアが1勝3敗で同じ勝点となったので、7分間の2位決定戦が行なわれることになった。

両チームとも、2位以内なら今年の世界選手権(11月17 - 19日、鹿児島県加世田市開催)に派遣される事から、2位決定戦も両チームの1点を争う素晴らしい熱戦となり、観客も興奮して今大会最高に盛り上がりを見せた。結果は3 - 2で中国香港が勝ち、中国香港が国際大会で初めてマレーシアを上回って2位となり、マレーシアは3位となった。

### サイクルフィギュア

サイクルフィギュアは、男女別にシングル、ジュニア(15歳以下)シングル、ペアの6種目が行われ、日本からは佐浦ひろゆき(男子シングル)、堀井和美(女

子シングル)の2名が出場した。

選手は申請点の低い順に6分間の演技を1回だけ行い、その得点で順位を決めるため、サイクルサッカーと違い、会場内は静まり返り、緊張感が漂うなかで競技が開始された。

昨年3位の佐浦は大会前の練習で左足首を捻挫し、得意としていたウイリー系の技を使えず、240.26点という不本意な得点で4位に終わった。男子シングル優勝は、アジア新記録を出した中国香港の余心怡(305.21点)で、この得点は世界選手権の6位に相当する得点である。

第1回アジア選手権優勝者で同じく昨年3位の堀井は、アジアでも人気が高く、終始優雅に無難な演技でまとめ、241.75点で3位に入り、演技終了後には、観客や他国選手から拍手が沸き起こった。女子シングルは中国香港の余樂之選手(263.79点)が優勝した。日本がエントリーしていない他の種目は、中国香港が男女ペア、中国マカオが男女ジュニアシングルを制した。

大会前日に開かれた監督会議において、Hartmut Kimmerle国際室内自転車競技委員会(CIS)会長が、アジアが世界で最も発展している地域である、との趣旨の挨拶をしたとあり、ここ数年、アジア各国は小中学校を中心に、普及、強化活動を努めた結果、アジアのレベルは著しく向上し、サイクルフィギュアの男女シングル、男子ペアにおいては世界レベルに達していることから今年の世界選手権においてアジア初のメダリストが誕生する可能性がある。

(植本 昌之)

### [ 競技結果 ]

サイクルフィギュア 女子シングル			
1	Yu Lok Chee, Rachel	HKG	263.79
2	Mui Ho Yee	HKG	252.68
3	堀井 和美	JPN	241.75

サイクルフィギュア 男子シングル			
1	Yu Sum Yee, Samuel	HKG	305.21
2	Yu Hok Yee, Harry	HKG	288.57
3	Halikulanuar Abu	MAS	246.99
4	佐浦ひろゆき	JPN	240.26

### サイクルサッカー

1	濱 和彦・富士見 明	JPN
2	Ho Wing Tai /Lo Man Fai	HKG
3	Zulkifli Senin/Shamsinar A. Halim	MAS

# 第17回 全日本BMX選手権 in ひたち海浜公園

(兼)2002年UCI世界BMX選手権代表派遣選手選考第3戦 - 2001年8月18日 -

## これはおもしろい!!

初めて観戦することになった。実はMTBとBMXの違いもわからぬまま取材に。JBMXF会長の蒔田氏にお話を伺ったが、その後観戦している内に実感としてその違いを理解した。BMXは技有りと言ったところか。大小様々な山コブを小さな車輪と一体化したレーサーが飛び走るのである。レースは370mを1周だけ。鍛錬されてくると飛び方が美しい。見てくれと言わんばかりにその技を見せ付けてくれる。見ているうちにやってみたくなる。

## ファミリーコミュニケーション・スポーツ

開会式に整列した選手達がデコボコだ。この大会は全日本選手権だが、間違い無く正選手に5・6歳の子供達もまざっている。子供だ

けではないお父さんも出場している。もちろんお兄さんお姉さんもだ。家族でBMX談義が日々交わされるそうだ。20歳前後の選手が小さな小学生ライダーと対等にレース談を講じつつ歩いている様子はこの競技ならではの光景だ。

## 目指すもの!

今や日本全国いづこも道路舗装されている。自転車では走るともありがたい。しかし、悪路を走ってみたい衝動にかられることが、子供時代に有りはしないだろうか。この競技はその欲求を十分に満たしてくれる。子供達は自分の前に立ちかかる山を飛び越える喜びを覚えつつ楽しみながら知らず知らずの内に運動能力を開発されていくにちがいない。日本のBMXにおいて世界のレ

ベルはまだまだ高いらしい。しかし、この競技を経て競輪の選手になった者、各自転車競技種目で活躍する選手を多々輩出しつつあるとのこと。その後ある市営のBMX走路に行ってみた。自由に無料で誰でも走れることもあって、正選手から、ママチャリのお父さん、自転車に乗れるようになったばかりの3歳くらいの子供など、様々な人が楽しんでいた。こんな走路がいたるところにあるのがアメリカだと聞いた。1町にひとつふたつの走路が必ずあるらしい。日本にとってはうらやましい環境だ。

是非1度観戦に行ってみてほしい。昨今取り沙汰されている「家族」というテーマに大きなヒントを投げかける存在である事を実感できると思う。(吉田八栄子)

## [ 競技結果 ]

### スーパークラス

1. 三浦 進 (大阪)
2. 黒田 淳 (岡山)
3. 土井 昭 (大阪)
4. 塚原 睦人 (愛知)
5. 蔵本 啓朗 (岡山)
6. 水口 崇 (広島)
7. 古志 嘉崇 (神奈川)
8. 阪本 章史 (大阪)

### 男子7歳以下クラス

1. 高橋 晃太 (岡山)
2. 野島 遊 (大阪)

### 3. 高木 智那 (新潟)

### 男子8~9歳クラス

1. 三瓶 貴公 (神奈川)
2. 草間 亮介 (新潟)
3. 池田 大暉 (新潟)

### 男子10~11歳クラス

1. 古性 優作 (大阪)
2. 高山裕次郎 (埼玉)
3. 高橋 堅太 (岡山)

### 男子12~13歳クラス

1. 信清 達也 (岡山)
2. 藤原 海渡 (神奈川)
3. 井上 享俊 (大阪)

### 男子14~16歳クラス

1. 市山 研 (神奈川)
2. 金井 卓也 (新潟)
3. 赤城 文隆 (岡山)

### 男子17~29歳クラス

1. 逸崎 智也 (大阪)
2. 松崎 伸治 (愛知)
3. 古舘 謙一 (岐阜)

### 男子30~34歳クラス

1. 滝川 年徳 (愛知)
2. 佐藤 謙一 (新潟)

### 男子35~39歳クラス

1. 小島 勉 (大阪)

### 2. 古性 秀一 (大阪)

### 3. 佐藤 聖司 (愛知)

### 男子40歳オーバー

1. 飯端 宏 (大阪)
2. 小川 義行 (新潟)

### ガールズ7歳以下

1. 渡辺 楓 (岡山)

### ガールズ13歳以上

1. 藤原亜香里 (神奈川)
2. 飯端 美樹 (大阪)
3. 井上 芙美子 (大阪)

## 2001 BMX 世界選手権アメリカ大会



2001 BMX世界選手権アメリカ大会は、7月27日~29日ケンタッキー州ルイビルフリーダムホール(室内)において、30ヶ国、選手1653名が参加して行われた。真夏とはいえ室内は肌寒いコンディションであった。

日本選手団は、2000年度ナンバー2の阪本(大阪)、常勝古性(大阪)、常連三瓶

曜日は総会で、オリンピック出場希望を進めているとのこと。今後の世界選手権の開催は、2002年ブラジル、2003年オーストラリア、2004年オランダの予定。木曜日は国別公式練習日だが、BMXコース未完成のため中止となった。金曜日は前日予定していた公式練習を早朝に行い、開会式も国旗入場だ

兄弟(神奈川)をはじめ選手10名、役員サポーター計17名。関西空港を1時間遅れで出発し飛行機がレイビルに到着したのは、6時間遅れの深夜に。翌火曜日はレジス

トレーション。水曜日は総会で、オリンピック出場希望を進めているとのこと。今後の世界選手権の開催は、2002年ブラジル、2003年オーストラリア、2004年オランダの予定。木曜日は国別公式練習日だが、BMXコース未完成のため中止となった。金曜日は前日予定していた公式練習を早朝に行い、開会式も国旗入場だ

けにし、予定のスケジュールに戻った。いよいよ土曜日に9名の日本選手が出場し、それぞれの成績を挙げた。また今後入賞を、10才前後の選手が必ず達成してくれると思う。

今日大会は主管国アメリカの運営の悪さが目についた後味の悪い世界選であった。なお、2001年ワールドチャンピオンは英国のダル・ホルメスであった。

(蒔田 一)

## [ 競技結果 ] (日本人成績のみ)

- |       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 島田 忠彦 | 19OVER  | 予選敗退    |
| 阪本 章史 | 19OVER  | 準々決勝DNS |
| 蔵本 啓朗 | JUNIOR  | 予選敗退    |
| 飯端 美樹 | 16GIRLS | 準決勝6位   |
| 赤城 文隆 | 14BOYS  | 予選敗退    |
| 藤沢 雄一 | 12BOYS  | 予選敗退    |
| 三瓶 将広 | 11BOYS  | 準々決勝5位  |
| 古性 優作 | 10BOYS  | 準決勝5位   |
| 三瓶 貴公 | 9BOYS   | 準決勝5位   |
| 野島 遊  | 6BOYS   | 予選敗退    |

2001 ロード・トラック・ランキング(8月現在)

[ロードレース]

男子エリート・ロードレース

E	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	坂口 博	愛知	E		3,372.0
2	橋川 健	JPCA	E	P	3,159.8
3	鈴木 真理	JPCA	E	P	3,006.3
4	狩野 智也	JPCA	E	P	2,541.0
5	三浦 恭資	JPCA	E	P	2,203.3
6	田中 光輝	愛知	E	m	2,132.3
7	鈴木 新史	JPCA	E	P	1,903.8
8	田代 恭崇	JPCA	E	P	1,835.5
9	行成 秀人	香川	E		1,799.2
10	新保 光起	JPCA	E	P	1,791.8
11	山本 雅道	神奈川	E		1,598.8
12	飯島 誠	JPCA	E	P	1,536.6
13	岡崎 和也	JPCA	E	P	1,488.5
14	今西 尚志	京都	E	m	1,488.3
15	広瀬 敏	石川	E		1,418.4
16	柿沼 章	栃木	E		1,352.3
17	西村 拓也	京都	E		1,194.6
18	中川 康二郎	茨城	E	m	1,060.3
19	宮澤 崇史	長野	E		1,058.7
20	渋谷 淳一	JPCA	E	P	1,001.5
21	阿部 良之	JPCA	E	P	959.7
22	山本 泰裕	大阪	E		953.5
23	森 正和	静岡	E		819.2
24	飯島 規之	JPCA	E	P	800.0
25	大内 薫	大阪	E		795.1
26	福島 晋一	JPCA	E	P	760.0
27	秋田 謙	愛知	E		723.1
28	ミノブ ヲドリ	北海道	E		706.3
29	流郷 克哉	群馬	E	m	698.0
30	栗村 修	JPCA	E	P	661.1
31	小嶋 洋介	京都	E		660.0
32	大塚 英伸	JPCA	E	P	600.0
33	江下 健太郎	愛知	E		573.2
34	福島 康司	埼玉	E		554.0
35	矢澤 真幸	京都	E		550.4
36	算 寛	長野	E		502.0
37	長野 耕治	愛媛	E		496.0
38	日置 大介	兵庫	E		481.0
39	石井 雅史	JPCA	E	P	480.0
40	鈴木 雷太	長野	E	P	444.0
41	小嶋 雄太	JPCA	E	P	440.0
42	班目 真紀夫	福島	E		433.4
43	三船 雅彦	JPCA	E	P	432.0
44	小林 太樹	大阪	E		409.0
45	飯田 義広	JPCA	E	P	400.0
46	中山 大介	茨城	E		372.5
47	渡辺 忠義	三重	E		366.6
48	吉本 哲郎	JPCA	E	P	360.0
49	ビシト 万ガツ	大阪	E	m	350.5
50	久保田 誠	東京	E	m	335.6

男子U23・ロードレース

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大塚 潤	静岡	U		1,730.8
2	辻 貴光	京都	U		1,218.5
3	後藤 正志	岐阜	U		1,151.2
4	圓谷 崇	福島	U		1,134.8
5	別府 匠	神奈川	U		1,133.8
6	綾部 勇成	神奈川	U		1,071.3
7	佐藤 朋也	秋田	U		836.5
8	清水 実	山梨	U		804.0
9	岩本 竜太郎	山梨	U		758.1
10	上田 誠	奈良	U		711.0
11	西谷 泰治	広島	U		641.8
12	郡山 善貴	岐阜	U		562.7
13	平井 信昭	兵庫	U		557.6
14	宮川 拓也	滋賀	U		550.6

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
15	加藤 康則	埼玉	U		526.0
16	櫻川 裕之	葉城	U		518.8
17	飯田 輝男	茨城	U		477.3
18	橋本 健	東京	U		455.7
19	小笠原 豪	青森	U		452.8
20	渡邊 哲平	京都	U		436.8
21	清水 裕輔	埼玉	U		372.5
22	真栄里 誠	沖縄	U		368.4
23	山本 敬純	大阪	U		363.6
24	出井 光一	千葉	U		358.5
25	鈴木 謙一	静岡	U		358.4
26	小嶋 健	神奈川	U		348.1
27	清水 都貴	鹿児島	U		345.6
28	宮崎 景涼	神奈川	U		340.0
29	清水 良行	岡山	U		337.2
30	阪田 晋司	京都	U		328.5

男子ジュニア・ロードレース

J	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	親川 泰典	岩手	J		1,281.0
2	別府 史之	神奈川	J		1,162.0
3	土井 雪広	山形	J		1,011.5
4	小林 彰夫	福島	J		965.8
5	池田 丈志	奈良	J		902.5
6	松下 善紀	広島	J		810.5
7	高島 豪	埼玉	J		712.0
8	天沼 雅貴	北海道	J		608.5
9	辻 善光	京都	J		525.0
10	櫻井 透	神奈川	J		516.7
11	隅田 幸助	広島	J		512.8
12	松原 稔明	奈良	J		468.4
13	糸賀 賢司	福島	J		428.0
14	白浜 慶一	広島	J		421.8
15	柏原 剛	京都	J		384.0
16	安里 勝徳	沖縄	J		368.0
17	西牧 仁	福島	J		367.4
18	三浦 光誠	山形	J		340.0
19	佐々木 正美	青森	J		308.5
20	小椋 康寛	岐阜	J		295.0
21	中村 誠	石川	J	s	290.5
22	立里 匡道	山形	J	u	290.0
23	谷垣 雄基	山形	J		277.0
24	佐藤 佑一	岩手	J		270.0
25	今井 卓	埼玉	J		246.0
26	小倉 知幸	福島	J		237.5
27	加藤 久詞	愛知	J		215.6
28	田中 雄大	愛媛	J		211.0
29	鷲田 佳史	福井	J		210.0
30	矢代 慎吾	富山	J		200.0

女子・ロードレース

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	杉村 久美	岩手	E		2,172.5
2	木村 春恵	青森	U		1,845.0
3	大塚 恵美	大分	U		1,843.5
4	小野山 恵美	愛媛	E		1,740.5
5	沖 美穂	山梨	E		1,670.0
6	村中 恵美子	東京	E		1,598.5
7	森本 朱美	鳥取	E		1,432.0
8	中村 珠藻	奈良	U		1,280.0
9	伊与田 尚加	静岡	E		1,179.0
10	松永 舞美	香川	J		1,154.0
11	斎藤 綾	秋田	U		1,070.0
12	前川 康子	奈良	J		1,001.6
13	塩原 桂子	東京	E		953.0
14	小谷 翠	愛知	E		922.0
15	唐見 実世子	石川	E		890.0
16	福森 智子	三重	E		802.5
17	谷村 祐美子	奈良	J		718.0
18	小高 セツコ	埼玉	E		669.5
19	横尾 裕子	山形	J		666.0
20	林 佐知子	東京	E		606.0
21	増子 郁代	東京	E		583.0

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
22	西 加奈子	千葉	E		580.0
23	南部 博子	長野	E		550.0
24	大塚 歩	栃木	E		500.0
25	舟橋 豊子	東京	E		440.2
26	許斐 真由子	鹿児島	U		432.0
27	藤野 つみ	東京	E		402.0
28	横田 景子	埼玉	U		358.2
29	小栗 美樹	岐阜	E		346.6
30	小野 翔子	栃木	J		340.0

[トラックレース]

男子エリート・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大森 慶一	北海道	U		1,840.0
2	岡本 大嗣	愛媛	U		1,332.0
3	篠原 忍	群馬	U		1,306.5
4	伏見 俊昭	JPCA	E	P	840.0
5	荒井 崇博	JPCA	E	P	672.0
6	竹沢 浩司	富山	U		611.2
7	濱田 浩司	JPCA	E	P	546.0
8	大村 慶二	東京	E		440.0
9	村上 義弘	JPCA	E	P	420.0
10	前田 吉昭	石川	U		391.6

男子エリート・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	植木 和広	神奈川	U		1,602.0
2	布居 寛幸	JPCA	E	P	1,546.0
3	湯原 正行	長野	E		1,396.0
4	金子 貴志	JPCA	E	P	840.0
5	三宅 裕武	三重	U		800.0
6	渡邊 晴智	JPCA	E	P	672.0
7	小川 圭二	JPCA	E	P	420.0
8	塩原 正長	広島	E	m	419.2
9	大崎 飛雄馬	愛媛	E		395.2
10	櫻山 新太郎	福岡	U		314.2

男子エリート・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	黒木 裕介	宮崎	U		2,140.0
2	坂口 博	愛知	E		1,832.0
3	伊藤 太一	山梨	U		1,566.0
4	飯島 規之	JPCA	E	P	840.0
5	鳥生 知八	JPCA	E	P	672.0
6	吉井 功治	東京	E	m	580.0
7	諸橋 愛	JPCA	E	P	546.0
8	盛 一大	茨城	U		469.2
9	河崎 恵治	JPCA	E	P	420.0
10	吉野 鉄平	広島	U		329.2

男子エリート・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	吉井 功治	東京	E	m	1,672.0
2	坂口 博	愛知	E		1,340.0
3	福島 晋一	JPCA	E	P	1,000.0
4	大塚 英伸	JPCA	E	P	926.0
5	内藤 宣彦	JPCA	E	P	840.0
6	西谷 泰治	広島	U		726.0
7	齋藤 勝	JPCA	E	P	672.0
8	狩野 智也	JPCA	E	P	650.0
9	鈴木 涼平	宮城	U		630.2
10	飯島 一信	山梨	U		466.5

## 男子エリート・4000m速度競走

MS	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	伊藤 太一	山梨	U		170.0
2	有賀 義文	埼玉	E	m	136.0
3	篠原 忍	群馬	U		85.0
4	出井 光一	千葉	U		64.6
5	盛 一大	茨城	U		47.6
6	岡田 将太	茨城	U		22.1

## 男子ジュニア・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	永井 清史	岐阜	J		1,770.0
2	石橋慎太郎	静岡	J	s	1,165.0
3	青木 亮太	群馬	J		973.0
4	齋藤 友幸	静岡	J		561.6
5	屋良 朝春	沖縄	J		400.0
6	鷹木 官玄	岩手	J		376.0
7	北津留 翼	福岡	J	u	305.5
8	前田 義和	鹿児島	J		207.7
9	中山 健	新潟	J		184.6
10	渡部 幸訓	福島	J		178.6

## 女子・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	篠崎 新純	千葉	J		2,057.0
2	中尾 友美	奈良	U		2,046.0
3	太刀川麻也	茨城	U		2,040.0
4	大森 恵	北海道	J		1,012.0
5	遠藤 友子	大分	J		975.2
6	野坂 尚由	愛知	U		606.0
7	大塚 恵美	大分	U		555.2
8	仁藤ひろみ	静岡	U		380.2
9	齋藤 綾	秋田	U		340.0
10	高嶋美咲紀	鳥取	J		318.4

## 男子エリート・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	吉田 康則	岡山	E	m	1,872.0
2	塩原 正長	広島	E	m	1,506.0
3	小野 旭裕	兵庫	U		1,040.0
4	檜崎 雅也	宮崎	U		856.0
5	石丸 健次	千葉	E	m	811.2
6	松本 陽介	群馬	U		702.0
7	百々 敦史	三重	E		359.2
8	篠原 忍	群馬	U		300.0
9	松井 健	滋賀	U		295.0
10	中村 幸二	富山	E	m	256.0

## 男子ジュニア・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	臼井 昌巨	岐阜	J		1,210.0
2	明珍 周兵	福島	J		861.5
3	高島 豪	埼玉	J		752.0
4	吉田 公樹	青森	J		376.0
5	小岩 大介	大分	J		250.0
6	佐藤 友和	岩手	J	s	235.2
7	糸賀 賢司	福島	J		190.0
8	辻 龍一	大阪	J		179.6
9	熊谷 薫	福島	J	u	178.6
10	緒方 剛	埼玉	J		166.2

## 女子・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	遠藤 友子	大分	J		1,972.0
2	中尾 友美	奈良	U		1,896.0
3	太刀川麻也	茨城	U		1,840.0
4	大森 恵	北海道	J		1,245.0
5	篠崎 新純	千葉	J		719.2
6	藤原亜衣里	新潟	U		479.2
7	野坂 尚由	愛知	U		474.0
8	遠山 恵	岩手	U		325.0
9	大塚 恵美	大分	U		240.0
10	稲岡 智子	大阪	E		160.0

## 男子プロ・ケイリン

KE	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	内林 久徳	JPCA	E	P	1,490.0
2	市田佳寿浩	JPCA	E	P	672.0
3	前田 拓也	JPCA	E	P	546.0
4	手島 慶介	JPCA	E	P	420.0
5	西川 親幸	JPCA	E	P	319.2
6	會田 正一	JPCA	E	P	235.2
7	池尻 浩一	JPCA	E	P	168.0
8	一丸 安貴	JPCA	E	P	126.0
9	伊藤 保文	JPCA	E	P	117.6

## 男子ジュニア・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	片山 智晴	岡山	J		951.0
2	高島 豪	埼玉	J		920.0
3	親川 泰典	岩手	J		616.0
4	池田 丈志	奈良	J		400.0
5	土井 雪広	山形	J		388.0
6	相川 永伍	埼玉	J		362.2
7	身崎 琢磨	宮城	J	u	305.5
8	廣瀬 勝光	群馬	J		305.4
9	柴田 祐也	岐阜	J		284.0
10	鷲田 佳史	福井	J		250.0

## 女子・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	木村 春恵	青森	U		2,140.0
2	齋藤 綾	秋田	U		1,762.0
3	杉村 久美	岩手	E		1,420.0
4	中村 珠藻	奈良	U		1,371.0
5	松永 舞美	香川	J		740.0
6	村中恵美子	東京	E		519.2
7	横尾 裕子	山形	J		481.0
8	谷村祐美子	奈良	J		467.2
9	玉城 さち	沖縄	J		442.0
10	小野 翔子	栃木	J		374.0

## 男子ジュニア・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	西村 行貴	熊本	J		1,068.6
2	永井 清史	岐阜	J		1,040.0
3	今泉 薫	群馬	J		513.0
4	井上 雄三	埼玉	J	s	500.0
5	屋良 朝春	沖縄	J		470.0
6	須藤 雄太	千葉	J		445.5
7	橋本 強	愛媛	J		443.2
8	福田 正人	埼玉	J		421.7
9	臼井 昌巨	岐阜	J		400.0
10	田中 幹雄	石川	J		276.6

## 男子ジュニア・4000m速度競走

MS	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	糸賀 賢司	福島	J		470.0
2	田中 誠	福岡	J		376.0
3	三澤 康人	宮城	J	u	305.5
4	緒方 剛	埼玉	J		235.0
5	柴田 大全	埼玉	J		178.6
6	金山 武	新潟	J		176.3
7	村形 幸侑	山形	J		131.6
8	田畑 英行	岩手	J		94.0
9	清水 恒彦	宮城	J		70.5
10	緑川 修平	福島	J		61.1

## 女子・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	松永 舞美	香川	J		1,500.0
2	森本 朱美	鳥取	E		1,322.0
3	齋藤 綾	秋田	U		1,241.0
4	杉村 久美	岩手	E		1,119.2
5	藤原亜衣里	新潟	U		914.0
6	木村 春恵	青森	U		900.0
7	大塚 恵美	大分	U		868.0
8	中村 珠藻	奈良	U		665.2
9	谷村祐美子	奈良	J		400.0
10	前川 康子	奈良	J		325.0

.....  
 ・ エリート: E(プロ:EP, マスター:Em), アンダー23: U、ジュニア: J(15才:Ju, 18才で1~3月生:Js) ・  
 .....

対象大会: 8月中旬まで

# 競技大会 結果

大会名・チーム名等については略して記載

## 第42回全日本学生選手権 (7/28-29 山梨・境川自転車競技場)

### 1kmタイムトライアル

- |   |       |        |          |
|---|-------|--------|----------|
| 1 | 竹沢 浩司 | 日本大学   | 1:08.469 |
| 2 | 大村 慶二 | 東京工業大学 | 1:09.447 |
| 3 | 松永 将  | 中央大学   | 1:10.627 |
| 4 | 松村 友和 | 関西大学   | 1:10.644 |
| 5 | 前田 吉昭 | 日本大学   | 1:11.786 |
| 6 | 木賊 弘明 | 札幌学院大学 | 1:12.038 |

### ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- |   |       |          |
|---|-------|----------|
| 1 | 植木 和広 | 中央大学     |
| 2 | 青沼 寿  | 日本大学     |
| 3 | 吉田 真也 | 関西大学     |
| 4 | 北野 大地 | 東北学院大学   |
| 5 | 高橋 峻  | 北海学園北見大学 |
| 6 | 森田 光高 | 東海大学     |

### 4km個人追抜競走

- |   |       |        |          |
|---|-------|--------|----------|
| 1 | 黒木 裕介 | 法政大学   | 4:54.617 |
| 2 | 伊藤 太一 | 日本大学   | 4:59.185 |
| 3 | 浦門 義人 | 中京大学   | 4:56.721 |
| 4 | 盛 一大  | 日本大学   | 5:03.042 |
| 5 | 清水 良行 | 京都産業大学 | 5:00.189 |
| 6 | 吉井 淳  | 関西大学   | 5:03.140 |

### ｸﾞﾘｯﾌﾟ

- |   |       |          |
|---|-------|----------|
| 1 | 篠原 忍  | 中央大学     |
| 2 | 山口 裕之 | 法政大学     |
| 3 | 松井 健  | 京都大学     |
| 4 | 平岡 靖章 | 北海学園北見大学 |
| 5 | 小野木一仁 | 法政大学     |
| 6 | 牧野真彦  | 東北学院大学   |

### ﾊﾞｲﾄﾞｰｽ

- |   |       |      |           |
|---|-------|------|-----------|
| 1 | 飯島 一信 | 中央大学 | 28 p      |
| 2 | 三浦真一郎 | 中央大学 | 15 p      |
| 3 | 鈴木 涼平 | 中央大学 | 15 p      |
| 4 | 西谷 泰治 | 日本大学 | (-1) 39 p |
| 5 | 三上 広  | 法政大学 | (-1) 36 p |
| 6 | 普久原 奨 | 日本大学 | (-1) 21 p |

### ﾀﾞﾃﾞﾞｽﾌﾟﾘｯﾄ

- |   |           |        |
|---|-----------|--------|
| 1 | 前川亮二・前田吉昭 | 日本大学   |
| 2 | 富永真司・鈴木昭博 | 中京大学   |
| 3 | 中島卓也・和田健次 | 東北学院大学 |

- |        |           |               |
|--------|-----------|---------------|
| 4      | 黒木直人・高橋哲平 | 鹿屋体育大学        |
| ﾏﾝ ﾞｲﾝ |           |               |
| 1      | 明珍多雄・近藤 拓 | 日本大学 47 p     |
| 2      | 西村尚文・室井佑介 | 法政大学 21 p     |
| 3      | 森 誠二・小笠原豪 | 日本大学 8 p      |
| 4      | 坂本安曇・吉井 淳 | 関西大学 (-1) 9 p |
| 5      | 小倉英治・清水都貴 | 鹿屋体大 (-1) 7 p |
| 6      | 三上 広・石田宏樹 | 法政大学 (-1) 5 p |

### 女子500mタイムトライアル

- |   |       |       |        |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 中尾 友美 | 筑波大学  | 38.714 |
| 2 | 斎藤 綾  | 順天堂大学 | 41.085 |
| 3 | 仁藤ひろみ | 明治大学  | 41.308 |
| 4 | 野坂 尚由 | 中京大学  | 42.208 |
| 5 | 中村 珠藻 | 順天堂大学 | 42.367 |
| 6 | 遠山 恵  | 順天堂大学 | 42.378 |

### 女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- |   |       |       |
|---|-------|-------|
| 1 | 中尾 友美 | 筑波大学  |
| 2 | 大塚 恵美 | 明治大学  |
| 3 | 遠山 恵  | 順天堂大学 |
| 4 | 仁藤ひろみ | 明治大学  |
| 5 | 野坂 尚由 | 中京大学  |
| 6 | 藤原亜衣里 | 法政大学  |

### 女子3km個人追抜競走

- |   |       |        |          |
|---|-------|--------|----------|
| 1 | 木村 春恵 | 八戸大学   | 4:10.200 |
| 2 | 斎藤 綾  | 順天堂大学  | 4:11.678 |
| 3 | 中村 珠藻 | 順天堂大学  | 4:14.136 |
| 4 | 大塚 恵美 | 明治大学   | 4:21.123 |
| 5 | 許斐真由子 | 鹿屋体育大学 | 4:20.971 |
| 6 | 川添 綾子 | 関西大学   | 4:27.381 |

### 女子ﾊﾞｲﾄﾞｰｽ

- |   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 大塚 恵美 | 明治大学  | 16 p |
| 2 | 中尾 友美 | 筑波大学  | 15 p |
| 3 | 斎藤 綾  | 順天堂大学 | 9 p  |
| 4 | 中村 珠藻 | 順天堂大学 | 9 p  |
| 5 | 藤原亜衣里 | 法政大学  | 7 p  |
| 6 | 坂井田理沙 | 八戸大学  | 6 p  |

## 2001JCFｼﾞﾊﾞﾝｼﾘｰｽﾞJ1XC#8

(8/4-5 長野・白馬さのさか)

### XC男子ﾘｰﾄ(36km)

- |    |        |              |            |
|----|--------|--------------|------------|
| 1  | 竹谷 賢二  | 千葉 SPECIAL   | 1:46:03.94 |
| 2  | 山口 孝徳  | 長野 CWS       | 1:47:28.21 |
| 3  | 戸津井俊介  | 埼玉 スポト       | 1:47:36.30 |
| 4  | 色川 浩樹  | 福島 GIANT J.  | 1:47:39.24 |
| 5  | じょんたろう | 大阪 TREK      | 1:49:33.11 |
| 6  | 深谷 幸彦  | 愛知 NEWS-N.   | 1:49:49.34 |
| 7  | 宇田川聡仁  | 静岡 ｸﾞﾘﾌ ﾏｯﾌﾟ | 1:49:56.65 |
| 8  | 堂城 賢   | 北海道 GARY F.  | 1:51:05.84 |
| 9  | 松本 駿   | 長野 GT J.     | 1:53:03.37 |
| 10 | 笹部 勝   | 大阪 ｱｸｵｰﾄ     | 1:53:35.02 |

### XC女子ﾘｰﾄ(24km)

- |   |       |            |            |
|---|-------|------------|------------|
| 1 | 中込由香里 | 神奈川 SY-Nak | 1:29:37.90 |
| 2 | 中口 裕代 | 長野 SCHWINN | 1:38:38.11 |

- |    |       |             |            |
|----|-------|-------------|------------|
| 3  | 田中 裕子 | 長野          | 1:41:41.67 |
| 4  | 森田 正美 | 神奈川 ARAI    | 1:44:10.05 |
| 5  | 窪田 二葉 | 長野 BRIKO R. | 1:46:25.20 |
| 6  | 深井 薫  | 大阪 FUNRIDE  | -1 LAP     |
| 7  | 渡辺 和世 | 愛知 チｰﾑやまつ   | -2 LAP     |
| 8  | 伊藤 幸恵 | 長野          | -2 LAP     |
| 9  | 伊藤真里子 | 京都 チｰﾑ ﾏﾞﾝ  | -3 LAP     |
| 10 | 榎本 梨絵 | 岡山 岡山大学     | -3 LAP     |

## 2001全日本実業団サイクルロードレースin丸岡 (8/5 福井・丸岡町)

### BR-1

- |    |       |                |             |
|----|-------|----------------|-------------|
| 1  | 鈴木 真理 | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ      | 3:53:11.713 |
| 2  | 山本 雅道 | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ      | 3:53:12.233 |
| 3  | 飯島 誠  | ｽﾏｰﾄﾞ ﾘﾀ.P.    | 3:53:12.619 |
| 4  | 中川康二郎 | ﾊﾞｲｸｽﾀｲﾙﾌﾟﾗﾝﾄﾞ | 3:53:14.076 |
| 5  | 宮澤 崇  | 日本舗道R.T.       | 3:53:33.092 |
| 6  | 阿部 良之 | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ      | 3:53:34.185 |
| 7  | 広瀬 敏  | 日本舗道R.T.       | 3:53:34.398 |
| 8  | 三浦 恭資 | ｷｯﾌﾟ ﾏﾞﾝ       | 3:53:35.029 |
| 9  | 狩野 智也 | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ      | 3:53:35.222 |
| 10 | 森 正和  | ﾐﾔｶﾞ ﾏﾞﾝR.     | 3:53:37.657 |

### BR-2

- |    |         |              |             |
|----|---------|--------------|-------------|
| 1  | 島沢由紀夫   | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ T. | 1:49:44.516 |
| 2  | 井上 和郎   | BALBA R.     | 1:49:44.597 |
| 3  | ニール・ミラー | Bee Club     | 1:49:45.139 |
| 4  | 藤田 雅弘   | CLUB ANGLE   | 1:49:45.701 |
| 5  | 北川 光治   | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ T. | 1:49:45.756 |
| 6  | 楠本 正昭   | 愛三工業R.T.     | 1:50:20.844 |
| 7  | 中田 真琴   | GS.NOKO      | 1:50:20.983 |
| 8  | 池本 真也   | Testach-R.   | 1:50:21.150 |
| 9  | 宮下 星児   | 自在           | 1:50:21.211 |
| 10 | 仲沢 俊    | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ 材  | 1:50:21.241 |

### BR-3

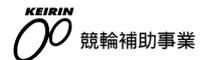
- |    |       |                 |             |
|----|-------|-----------------|-------------|
| 1  | 氏原 寛泰 | SPADE・ACE       | 1:15:37.739 |
| 2  | 上條 徹  | 日本アイランド         | 1:15:37.864 |
| 3  | 丹沢 秀樹 | ｽﾏｰﾄﾞ ﾘﾀ.P.     | 1:15:37.908 |
| 4  | 中島 義基 | ﾁｰﾑ ﾁｰﾌﾞ ﾋ      | 1:15:38.036 |
| 5  | 杉本 快  | たかだランド R.       | 1:15:38.095 |
| 6  | 小澤 廣晃 | ﾌﾞﾗｲﾄﾞ ﾘﾀ       | 1:15:38.129 |
| 7  | 笹井 秀治 | ﾌｰﾊﾞｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ    | 1:15:38.154 |
| 8  | 福富 義雄 | RT N&H          | 1:15:38.176 |
| 9  | 山口 隆彦 | ﾌﾞﾗｲﾄﾞ ﾘﾀ       | 1:15:38.274 |
| 10 | 岡田 直樹 | ﾐﾈﾙ ﾏﾞﾝ ｱ ﾏ ﾏ ﾏ | 1:15:38.294 |

### 女子ﾘｰﾄ

- |   |       |                |             |
|---|-------|----------------|-------------|
| 1 | 唐見実世子 | ﾊﾞｲｸｽﾀｲﾙﾌﾟﾗﾝﾄﾞ | 1:50:26.149 |
| 2 | 小野山恵美 | ｲｷｯﾌﾟ ﾏﾞﾝ      | 2:03:01.544 |
| 3 | 伊与田尚加 | ｼﾞｬﾙｰｼﾝｸﾞ T.   | 2:03:28.756 |

### 女子ｵｰﾌﾞﾝ

- |   |       |          |             |
|---|-------|----------|-------------|
| 1 | 山口麻理子 | BALBA R. | 1:23:13.462 |
| 2 | 小谷 翠  | NCFR     | 1:27:07.779 |



# 日本新記録

オリンピック・スプリント(333.33m×3)

男子プロ 59秒750 濱田浩司、大森慶一、荒井崇博(日本) プロ・アマ混成 2001/08/12 メキシコ・メキシコシティ

## 第2回チャレンジ・ザ・オリンピックの実施について

選手強化委員会

本連盟では、3年後のアテネ、7年後の北京オリンピックに向けて、新しい有望な選手の発掘を行います。昨年1月に行われた第1回の開催では、今ではS級で活躍している長塚智広選手(茨城県)が驚異的なタイムを出し、ナショナルチームの一員としてシドニーでは大活躍しました。今回も、若き期待の星を探すため、下記により実施いたしますので、トラック競技の短距離で脚に自信のある方の奮ってのご参加をお待ちしております。

なお、基準タイム更新者は、日本自転車競技連盟強化指定選手等に追加指定され、世界選手権・オリンピック等を目標においた強化合宿・海外遠征等に参加していただきます。

- 主 催 日本自転車競技連盟  
 実施日時 平成13年10月21日(日)  
 実施場所 日本サイクルスポーツセンター・250mトラック  
 実施内容 (1) 250mタイムトライアル(スタンディング)  
 (2) 1kmタイムトライアル(スタンディング)  
 (3) 200mタイムトライアル(フライング)
- スケジュール 9:30~10:00 受付(サイテル駐車場) 10:00~11:30 練習、12:00~15:00 計測・表彰(予定)
- 参加資格 ピストレーサーにより250m走路を走行できる高校生以上の男子。
- 応募方法 ハガキにて住所・氏名・年齢(生年月日)・職業・電話番号・自宅最寄り駅(JR又は私鉄)を明記の上、下記あてにご応募ください。又、3種目の自己記録をお知らせください。追って参加通知書をお送りします。  
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車競技連盟「第2回チャレンジ・ザ・オリンピック」宛
- 応募締切 平成13年10月5日(金)必着
- その他 (1) 交通費の負担は、下記のとおりとする。  
 原則各自負担。但し、下記タイムを記録した者には本人最寄り駅からを連盟が負担する。  
**200m:10秒800以内 250m:18秒500以内 1km:1分06秒000以内**
- (2) 下記タイム更新者は、連盟強化指定選手等に追加指定する。  
**200m:10秒500未満 250m:18秒200未満 1km:1分05秒000未満**
- (3) 負傷等については、応急処置のほかは参加者の責任とする。
- \*お問合せは、日本自転車競技連盟選手強化部まで。TEL 03-3582-3713

## 国内シクロクロスレースカレンダー

シクロクロス小委員会

	北海道SP	茨城県シロ	長野CCM	関西シロクロス	シロクロスin広島
11月 4日	#1 長沼		#1 霧ヶ峰		
10日			#2 富士見		
11日		#13 真壁	#3 富士見	#1 日吉町	
18日			#4 伊那	#2 野洲川 (UCI公式リ-3)	
25日	#2 長沼		#5 松本		#1 吉和村
12月 2日		#14 真壁		#3 由良川	
9日			#6 上山田		#2 八千代
16日			#7 原村	#4 三段池	
23日			#8 穂高	#5 淀川	#3 庄原
'02年1月 6日				#6 希望ヶ丘	#4 宮島
13日			#9 佐久 (全日本選手権)		
20日				#7 桂川	#5 吉和
27日				#8 丹波	

全日本選手権参加資格取得最終大会

## 2001年MTB世界選手権日本代表選手団

大会名	2001年MTB世界選手権大会		
大会期間	2001年9月8日(土)~16日(日)		
大会場所	アメリカ・コロラド、バイル		
大会派遣選手団	2001年9月8日(土)~18日(火)		
監督	杉山	喜一	
メカニック	仁木	康夫	
メカニック	白井	三善	
選手			
加スカトリ	男子E1T	鈴木	雷太(長野)・山口 孝徳(長野)
	男子U23	小笠原	崇裕(長野)
	男子ジュニア	広瀬	允(千葉)
	女子E1T	南部	博子(長野)・中込由香里(神奈川)
ダカビル	男子E1T	内嶋	亮(東京)・安達 靖(大阪)
		竹本	将史(埼玉)
	男子ジュニア	向原	健司(大阪)
	女子E1T	増田	まみ(埼玉)
	女子ジュニア	末政	実緒(兵庫)

## ツール・ド・おきなわ2001

## 参加者募集のお知らせ

第13回「ツール・ド・おきなわ2001」が11月10日(土)・11日(日)に開催される。

国際ロードレース大会・男子チャンピオンレースはUCI公認(1.5)レース。女子国際レースは50km。

詳しくはホームページまたは大会事務局へお問合せください。

[お問合せ先]

NPO ツール・ド・おきなわ協会

〒905-0014

沖縄県名護市港2-1-1 名護市民会館2階

電話 0980-54-3174(9:00~17:00)

http://www.tour-de-okinawa.jp

## 連盟の動き(7月下旬~8月下旬)

- 7月27日 第1回MTB小委員会 於:新潟県新井市  
 31日 トラック強化合宿(~8月3日) 於:長野県・松本競技場  
 シクリスムエコー編集会議
- 8月3日 第3回常務理事会  
 6日 トラックワールドカップ日本選手団出発(帰国 8/14) 於:メキシコ  
 7日 職員会議  
 16日 トラック強化合宿(~18日) 於:静岡県・日本CSC  
 21日 トラックワールドカップ日本選手団出発(帰国 8/28) 於:マレーシア  
 27日 第2回総務委員会  
 30日 第2回強化委員会

## 前号「アジア選手権大会」

## 競技結果不明部分補足

## ジュニア男子

## 団体追抜競走

- |   |                 |          |
|---|-----------------|----------|
| 1 | KOR             | 4:20.339 |
| 2 | JPN 白井・明珍・高島・池田 | 4:31.803 |
| 3 | TPE             | 4:33.319 |

## エリート男子

## 団体追抜競走

- |   |                 |          |
|---|-----------------|----------|
| 1 | KOR             | 4:17.142 |
| 2 | TPE             | 4:25.012 |
| 3 | JPN 飯島・黒木・諸橋・窓場 | 4:20.428 |

## 編集後記

“インカレ”の名で親しまれている全日本大学対抗選手権自転車競技大会の開催があり、山形県の新庄市と最上町を訪れた。インカレは今年が第57回大会。かなり古い歴史のある大会だが山形県で開催されるのは初めて。トラック競技が新庄サイクリススポーツセンターで、ロードレースが最上町の前森高原コースでそれぞれ行なわれた。新しい会場で、日ごろ見慣れていない新しい種別の競走を各地に提供することは自転車競技の発展のためには大変意義があることだと思う。総合成績は女子は八戸大学が接戦を制して初優勝し、男子は日本大学が最終日の逆転で優勝を飾った。

最近、ジュニア、エリートの中に位置すべきU23クラスに相当する大学生レベルの競技力の相対的な低下がささやかれていることもあって、今年の大会には大いに注目していた。確かに記録的には見るべきものは少なかったように思う。しかし、それ以外の面で改めていくつかの得るべきものがあつたような気がした。同じような年代、環境あるいは等しい条件下の者が助け合い、競い合い、切磋琢磨することの大切さ。一歩間違えば危険と隣り合わせであるがゆえにこそルールを守り、互いに尊重し合う精神の涵養。そして、とかく自己中心に陥りやすい近年の世相の中で、母校のために、仲間のためにといった忘れてはならない社会生活上の規範の認知と人間性の養成などなど...

法政大学が前半のトラックレースで奮戦したのも、それを日が大逆転したのもこれらの集大成だったのではないだろうか。これらを再認識し、その上に新たな競技力の養成を構築することによって、地盤沈下が叫ばれている学生スポーツの再興と新生は大いにあり得ると考えている。マスターズ大会などもその延長上で運動させて取り組むべきではないだろうか。(村田 統司)



シクリスムエコー No.80 2001年9月号

発行/財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭一

編集人/村田 統司

編集事務局/財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL http://www.jcf.or.jp/